

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2014	インターン番号	KB1109	タイプ	公募型
派遣国	ベトナム社会主義共和国		派遣都市	ハロン	
受入機関	Quang Ninh Investment Promotion Agency (IPA)				
受入機関概要 (事業内容等)	クアンニン省への投資誘致を促進するために設立させた地方政府機関。投資カンファレンスの開催や投資政策の立案などの投資促進活動、及び、投資関連スキの一括窓口。				
派遣期間	2014年9月3日 ~ 2015年2月14日				
現在の所属先	ユニチカ株式会社		当時の所属先	同左	
現在の所属部署	経営企画本部 グローバル戦略推進部		所在地	大阪府	
区分	大企業		性別	男性	

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

グローバル戦略推進部として全社的な海外施策を推進している中、現地政府系機関でインターンシップができる本事業について興味を持ちました。2013年にハノイに現地法人を設立したこともあり、現地の情報収集、及び、新たな現地政府系機関や企業とのコネクション形成を目的として、また私個人としてもグローバル人材として基礎を習得できると思い応募しました。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

- ・クアンニン省人民委員会へ進言する日本企業誘致担当者として、受入機関に対し日本企業への投資誘致活動の提案、日本企業・産業構造等に関する情報提供、日本企業団や日本政府訪問の際のアテンド。
- ・受入機関やインターン同期生のコネクションを活用した、政府系機関や企業への訪問・面談。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

受入機関が開催したカンファレンスやインターン同士の繋がりを活用し、政府機関や現地企業とのコネクションを構築することができ、弊社ベトナム現地法人にもそのコネクションを繋げることができました。また、ベトナム政府(地方政府)側として日本企業団・政府との会議に参加することにより、ベトナム政府側の理解だけでなく、日本政府のベトナム市場に対する思惑についても垣間見ることができました。インターンに参加するまで海外駐在経験がなかった私ですが、修業とも言える日本人がいない環境下で約6ヵ月間、仕事・生活することにより、英語やベトナム語の語学力、コミュニケーション能力が向上し、また、私自身の異文化適応力やストレスマネジメント力の確認もできました。インターンシップの経験により、海外で仕事をする上での自信になったと感じています。

インターンシップ風景



合同庁舎前



IPA投資促進部 オフィス

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

私が所属しているグローバル戦略推進部は、ユニチカの各組織の横串機能として事業部・関連会社の海外戦略の支援機能を担っています。それまで海外駐在経験がなかった私ですが、このインターンシップを経てからはグローバル戦略推進部員として自信を持って仕事ができるようになったと感じています。

インターン終了して間もなく、国内事業部やベトナム現地法人と共に発足したベトナム農業プロジェクトの業務主任者として取り組むことになりました。その中で、現地政府関連機関への効果実証試験依頼や、日本貿易振興機構(JETRO)・国際協力機構(JICA)・三菱東京UFJ銀行・現地人民委員会が共催する、「農業ワークショップ・ビジネス交流会」に参加しました。ワークショップの企業紹介では現地政府・企業の方々の前でインターンシップで身に着けたベトナム語で冒頭挨拶することができ、現地政府・民間企業へ大きなインパクトを与えることができました。また、ビジネス交流会ではベトナム体験談を交えながら話易い雰囲気作りを行うことができ、スムーズに商談に移ることもできました。これも約6か月間のインターンシップの成果だと実感しました。

語学面以外でもスケジュール管理であったり主体性という点も大きく向上したと思っています。インターンシップでは受入機関の担当者も通常業務があり、常には相手をしてくれません。そのような中、自分がどうしていくべきなのかを考えるようになり、意見するようになりました。また、自分がイメージしているスケジュールと現地の仕事のスピード感が合わず苦労したこともありましたが、このような経験により、各課題を期間内にどのように取り組んで行くのかを考えるようになりました。

社内ではグローバル人材の一人として、若手社員へのグローバル意識向上に向けた社内研修でインターンシップも体験談を話す機会もでき、グローバル人材の手本として一層頑張らなくてはと意識するようになりました。自己啓発の英会話もモチベーションを保って継続しています。

更にベトナムに同時に派遣されたインターン同期生との交流からは、他業種の考え方や知識を得るきっかけもなりました。現在も同じ苦労をした仲間として親交を深めていて、お互い都度現状報告していて、色々と刺激をし合っています。そして仕事とは関係ないのですが、インターンシップを通じてできた現地の友達が来日するという事で観光案内をすることになったりと、仕事以外の人脈もかなり広がりました。

インターンシップへの派遣前は半年間が長く辛いと思っていましたが、終わってみればあつと言う間でした。苦労した事もありましたが、それが私自身にとっては非常に有益だったと感じています。帰任してからまだ1年も経過していませんが、現在の業務を日々こなしていく中で、この貴重な経験のお陰でグローバル人材として成長できたと感じています。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

このインターンシップはHIDAやJETROからの支援体制がしっかりしていて、現地トラブルの際でも素早く対応もしてくれますし、同じタイミングで派遣される他のインターン生とも情報交換や相談がしやすく、そのため安心して現地でのインターンシップに集中することができます。

日常生活や業務を通じて、現地人脈形成だけでなく、異文化理解やビジネス慣習を肌で感じる貴重な経験ができ、また改めて日本の良さ・凄さも再発見することができます。短い期間ですが2度とない折角の機会と思いますので、何か目標を持ってチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

現在の活躍の様子



農業ワークショップへの参加



現地視察先風景